

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	港湾管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,351	1,428		1,032	252		1,284	▲ 67
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,351	1,428		1,032	252		1,284

事業概要	国土交通省及び境港管理組合が行なう港湾整備事業や利用促進事業等、また地域発展事業を図るため国等への要望活動を行なう。	今年度見直し事項	
事業目的	重要港湾境港の施設整備事業、港湾の利用促進について長期的な展望に立ち港湾計画の実行、拡充を図るため、国等への要望活動を行なう。		
現状と背景	国内外の物流の増加や重要港湾の機能を向上させるため、国への要望活動などを行ない、山陰、中海・宍道湖圏域の港湾施設としての重要な役割を果たす。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	境港港湾整備事業地元負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,025	375		375			375	▲ 650
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,025	375		375			375

事業概要	国直轄事業以外の整備事業のうち港湾事業について、港湾施設等の整備のため一部市の負担金等により事業を行なう。	今年度見直し事項	
事業目的	境港の鳥取県に属する施設の整備、維持補修などに要する経費である。境港の開発発展、利用促進及び管理運営の一元化が図られ鳥取県と島根県による一部事務組合の組織である。この境港管理組合の施設の整備経費を負担区分に応じて本市が負担する。		その他
現状と背景	新産業都市建設促進制度の廃止に伴う激変緩和措置が終了し、港湾事業の実施に当たっては、設定率の負担区分に応じて負担経費が算定される。管理組合が行なう事業量が増大すれば市の負担金が増加することが考えられる。	②海岸事業: 工事費 × 0.16 / 10により算出	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	通商観光課
事業名	さかいポートサウナ運営事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	28,229	27,412		27,271		311	27,582	▲ 647
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	15,130	14,280	14,280			14,280	▲ 850
一般財源	13,099	13,132		12,991		311	13,302	203

事業概要	「さかいポートサウナ」の管理及び運営	今年度見直し事項	
事業目的	福利厚生施設(浴場・サウナ)の管理運営を行い、市民及び船員の保養、健康の増進を図る。		
現状と背景	本市の基幹産業・水産業を支える船員の福利厚生施設として平成9年度に開館。現在、利用者は年間3万人前後で推移している。平成18年度からは女性客等への入浴料優待や薬湯の実施、また観光施設や各種イベント等との連携を行い、利用者の拡大を図っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	日本港湾協会会費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	50	50		50			50	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	50	50		50			50

事業概要	港湾事業の促進及び港湾事業に係る国の予算増額確保をするため全国組織である日本港湾協会に加入する。	今年度見直し事項	
事業目的	港湾の施設、管理に関して調査研究を行い、港湾振興及び利用促進を図る。国会への建議、請願を行い、施設整備を図り貿易の強化に寄与することを目的とする。		
現状と背景	協会が掲げる「人」、「モノ」などの交易・輸送の国際的な競争力を高めるため、港湾拠点の活発化を図り、施設整備に取り組む必要がある。また、最近の情報を取り組む協会の強力なネットワーク力を活用する。	その他	定額の経費負担。 昭和13年開始

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	港湾都市協議会分担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	13	13		13			13	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	13	13		13			13

事業概要	重要な社会資本である港湾、海岸保全施設等の整備・促進を行なう協議会に加入し、港湾等の研究対策を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	港湾管理機構及び港湾経営の調査研究、港湾都市所在地の共通課題の解決策を追求する。また、現出した問題への対応を図る。		
現状と背景	対外貿易や国内輸送の役割並びに物流拠点の活発化を図るため、国の事業として取り組む必要がある。	その他	人口割、均等割及び譲与税割により算出。 昭和33年開始

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	鳥取県港湾・漁港協会会費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	195	295		295			295	100
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	195	295		295			295

事業概要	港湾事業を促進するため国県事業費の予算額確保をするため鳥取県港湾・漁港協会に加入し、地方の港湾整備を図る。地域の活性化、発展に寄与する。	今年度見直し事項	
事業目的	会員相互の連絡調整、港湾並びに漁港漁場に関する普及啓発を図り、地域の活性化等に寄与することを目的とする。		
現状と背景	重要港湾と全国的に主要な漁港として立地するために県内外にその役割を果たし、また国へ整備事業等を働きかけていく役割を負う。	その他	定額による負担額及び前年度事業費に一定比率を乗じて得た金額との合算額。 昭和41年開始

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	通商観光課
事業名	さかいポートサウナ設備改修事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	789	1,156		1,156			1,156	367
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	789	1,156		1,156			1,156

事業概要	さかいポートサウナ設備の消耗品等の年次的な取替修繕	今年度見直し事項	
事業目的	平成22年度に策定した修繕計画に基づいて年次的に修繕を行うことにより、サウナ設備の安定稼働に資する。		
現状と背景	平成9年のオープンから相当の年月が経過し、各設備の経年劣化が進んでいる。 設備の延命と安定稼働の維持のため、計画的な改修・修繕を必要としている。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	みなとオアシスSea級グルメ全国大会参加費助成金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	400	800		400	400		800	400
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	400	800		400	400		800

事業概要	みなとオアシスSea級グルメ全国大会に参加する地元団体に対して、経費の一部を助成する。	今年度見直し事項	
事業目的	国土交通省中国地方整備局が主催する「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」に参加する地元団体の活動を支援することを目的に、参加経費の一部を助成する。境港のグルメと食材を全国へアピールすることを目的とする。		
現状と背景	境港市では、この活動をさらに発展させ、国土交通省が認定する「みなとオアシス」を隠岐汽船ターミナル周辺のエリアと夢みなと公園を中心としたエリアの2地区に形成し、新たな賑わいを創出するための取り組みをスタートしている。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	ウォーターフロント開発協会会費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	50	50		50			50	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	50	50		50			50

事業概要	豊かなウォーターフロントづくりや魅力ある港づくりのため、ウォーターフロント開発に関する最新情報や相互の意見交換・情報交換の機会を得るためウォーターフロント開発協会に加入する。	今年度見直し事項	
事業目的	境港の魅力ある港湾整備のため、ウォーターフロント開発協会に加入する。		
現状と背景	日本海拠点港に選定され、物流・人流が増加している中でウォーターフロントの整備が求められている。	その他	特別会員(自治体)団体50,000円

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	港湾行政セミナー負担金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		18						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		18					

事業概要	港湾に係る行政職員及び事業者を対象とした港湾関係知識の習得及び諸情報の理解を深めるために日本港湾協会が主催する研修会への参加受講料。	今年度見直し事項	
事業目的	担当職員の港湾関係知識・業務の習得及び理解を深め、通常業務に生かすことを目的とする。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	3	港湾費
目	1	港湾管理費

所管課	都市整備課
事業名	日本海にぎわい・交流海道ネットワーク会費
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		30		30			30	30
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		30		30			30

事業概要	当該ネットワークで取り組む日本海側各地域との交流の促進や、中央で検討されている「港湾における中長期政策」に日本海側港湾の役割と重要性を反映させるための提言等を通じて、境港の着実な港湾整備と日本海側海上ルートの確保に繋げる。	今年度見直し事項	
事業目的	他の日本海側港湾との結びつきを強め、太平洋側のみならず日本海側港湾の役割と整備の重要性を内外にアピールすることにより、境港の港湾整備及び日本海側海上ルートの確保を目的とする。		
現状と背景	平成27年8月14日に政府が閣議決定した国土形成計画に関して、交通政策審議会港湾分科会において、現在、「港湾における中長期政策」が検討中。当該政策に日本海側港湾の果たすべき役割と重要性が盛り込まれるように、当該ネットワークでは国土交通省への提言を平成28年度から実施。	その他	